

共用品推進機構だより 2016年03月11日(45)

## 目次

(209) 共用品推進機構関連記事

▽「わたしは共用品 高さと使いやすさ／星川安之」

(210) 製品関連記事

▽「球形で握りやすい爪切り／長谷川刃物」

(211) サービス関連記事

▽「『ペッパー』高齢に優しく みずほ銀行と実用化／日本 IBM」

(212) 行政関連記事

▽「【60秒解説】言葉要らずのおもてなし／経済産業省」

▽「高齢者・障害者への配慮規格策定の一層の促進／経済産業省」

(213) その他、各種関連記事

▽「接続不足の高齢者のエコシステム／by Lilian Myers, Leader, Apple +  
IBM Global Industry Portfolio」

(214) 新刊紹介

▽『ミネルヴァ社会福祉六法 2016』

▽『発達支援の場としての学校 子どもの不思議に向き合う特別支援教育』

▽『手話を生きる 少数言語が多数派日本語と出会うところで』

---

(209) 共用品推進機構関連記事

## ▼「わたしは共用品 高さを使いやすさ／星川安之」

公共の設備や機器では、異なる背丈の人が、同じ高さのものを使います。

高さを決める場合、その国の平均身長の人が届く位置に、操作ボタンなどを配置することが一般的です。一見、良さそうですが、平均身長から外れる人には、使いづらいものとなってしまいます。そんな高さの課題を解決している例を3つ紹介します。

1つ目は自動販売機。一般的な自販機の操作ボタンは、車いす使用者には届きにくい高さです。それを解決しているのが、最近増え始めているバリアフリータイプの自販機。ボタンに加え、コインや紙幣の投入口、商品取り出し口も、車いす使用者が届く高さに配置されています。

2つ目は、飛行機内にある物置棚。座席の上にある棚は、奥は見えづらい状況です。そのため奥を見るための鏡が棚の中に設置され課題を解決しています。

3つ目は、電車やバスのつり革。高さを変える工夫もありますが、自分の背にあっていないつり革にいけるとは限りません。そこでつかまるのに便利なのは、車内の床から天井につながっている棒。しかも、棒が3つに分かれていたりしたら、背の高低にかかわらず、より多くの人たちにも使える安全の確保につながります。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、背の高さの異なる人が大勢来日します。さまざまな高さを考える良い機会と思います。

(シルバー産業新聞 3月10日より抜粋)

---

## (210) 製品関連記事

## ▼「球形で握りやすい爪切り／長谷川刃物」

コロんとしたかわいい爪切り「ネイルプラス」。握りやすい球形フォルム。手の中で自由に角度を変えられ、色々な握り方ができる。軽い切れ味で、テーブルや床に置いたままでも安定して切れるので足の爪を切るときや力の弱い人にも重宝。大きな面で削りやすいドーム形やすりが付き、爪を優しく削り上げる。全5色。

(日経MJ 3月7日21面より抜粋)

---

(211) サービス関連記事

▼「『ペッパー』高齢に優しく みずほ銀行と実用化／日本 IBM」

日本 IBM はみずほ銀行と組み、店舗で来店者の年齢に応じて対応するヒト型ロボット「ペッパー」を実用化する。人工知能（AI）技術を取り入れた IBM の新型コンピューター「ワトソン」をロボットに初めて応用。顔認識機能で来店者の年齢を識別し対応を変える。高齢者の場合には聞き取りやすい周波数で話したり、動作速度を落としたりすることも検討中だ。

今後は高齢者が認識しやすい周波数で話したり、動作をゆっくりにしたりするほか来店者の病気の状態や気持ちを観測することも目指す。

（日経MJ 3月4日9面より抜粋）

---

(212) 行政関連記事

▼「【60秒解説】言葉要らずのおもてなし／経済産業省」

東京オリンピックをきっかけに、日本では絵記号が街のいたるところに普及し、多くのコミュニケーションを助けてきました。

絵記号の「わかりやすさ」を、徹底的に追求したデザインの原則を国際規格として日本が提案し、今年1月に世界的に認められました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、わかりやすい絵記号や音が世界に広まっていくことは、とても有意義です。外国人旅行者にストレスなく過ごしていただくことで、日本や日本のおもてなしへの評価にも繋がるのが期待されます。

<http://www.meti.go.jp/main/60sec/2016/20160301001.html>

▼「高齢者・障害者への配慮規格策定の一層の促進／経済産業省」

我が国は、高齢者や障害のある人にも利用しやすい製品やサービス、環境の開発・普及を目的とした規格の策定にいち早く取り組み、世界でもトップクラスの数の規格を整備してきました。

2015年12月現在、作られた高齢者・障害者配慮関連の国内規格（JIS）は37件あり、このうち20件は日本提案によって既に国際規格（IS）になっています。また、JISを元に現在作成中・作成予定のISが6件、JISとは別に日本が提案したISも2件作成されています。

これらの規格の内容には、視覚的配慮、聴覚的配慮、触覚的配慮等が含まれ、その分野も包装・容器、消費生活製品、施設・設備、情報通信、コミュニケーション等、多岐にわたります。

こうした中、ISO/IECガイド71も制定後10年を経て見直し・改正が行われ、2014年12月に第2版が発行されました。現在、これを受けてJIS Z8071も見直し作業が進められています。

諸外国と知恵を結集して生まれた新たな指針の下、我が国も、高齢者・障害者に配慮した製品・サービス及び生活環境のさらなる充実と普及を促進していきたいと考えています。

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/AD/index.html>

---

### （213）その他、各種関連記事

#### ▼「接続不足の高齢者のエコシステム」by Lilian Myers, Leader, Apple + IBM Global Industry Portfolio

社会的なやり取りは、健康と精神の鋭敏さを維持するために必要な要素として知られている。実際、WHOによれば、健康状態を決める要素のうち、75%が社会環境および行動面の要因であり、医療は20%、遺伝は5%に過ぎない。

IBM東京研究室の研究者は、日本の高齢者を対象に、5年の期間をかけ、さまざまな要因がモバイル機器の使用に関する能力と親近感にどのように影響するか調査した。調査結果としてわかったのが、単純な操作でも難しく、機器やインターフェイスへの慣れの度合いが低い程、ユーザの自信や意欲が低くなるということであった。また、多くの被験者に眼と指が差す目標のずれのずれが生じることがわかった。同様に、手の震えがある被験者は一様に目標の箇所を指すことができなかった。タッピングのような、ほとんどのモバイル機器のインターフェイスとして採用されている操作が、実は被験者にとって非常に難しい行為であることが判明した。

この結果は、日本郵便、アップル、IBMが共同で発表した日本郵便の高齢者「見守り」サービスに応用された。2015年10月から、2つの県に住む1000

人の高齢者に対して、タブレット端末を使用した試験的なサービスが開始されている。

(AARP International “The Journal” 2016年版より翻訳抜粋)

---

#### (214) 新刊紹介

##### ▼ 『ミネルヴァ社会福祉六法 2016』

福祉専門職の人、福祉行政に携わる公務員、社会福祉士等の国家試験受験者を対象に、社会福祉制度の根幹となる法令を精選して抽出し、医療・年金、消費生活、労働法関連からも幅広く重要法令を掲載する。見返しに索引あり。

監修：野崎和義（のざき・かずよし）

編：ミネルヴァ書房編集部

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：2500円（税別）

ISBN：978-4-623-07510-2

##### ▼ 『発達支援の場としての学校 子どもの不思議に向き合う特別支援教育』

特別支援教育は「専門家」に任せるべき？特別支援学校および特別支援学級の教員たちが研究者とともに実践をふりかえり、一人ひとりの子どもに合った教育について考察する。季刊誌『発達』掲載の事例報告を加筆修正し再構成。

編著：東村知子（ひがしむら・ともこ）麻生武（あさお・たけし）

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：2800円（税別）

ISBN：978-4-623-07583-6

##### ▼ 『手話を生きる 少数言語が多数派日本語と出会うところで』

聞こえないこと、それは必死に受容し克服すべき障害ではない。多方面へのインタビューや欧米の事例等を紹介し、手話と日本語のバイリンガル教育を掲げる明晴学園の、変わりつつある手話の豊かな世界を描く。

著：斉藤道雄（さいとう・みちお）

発行：みすず書房

本体価格：2600 円（税別）

ISBN：978-4-622-07974-3

---

（編集後記）

- ・ 80 代の視覚に障害のある女性からお電話をいただいた。

「温かいお茶を時間をかけて味わうことを毎日楽しみにしています。ただ時間をかけるため、だんだんお茶は冷めてしまいます。30 分くらい、冷めない湯呑みはありませんか？」という問い合わせだった。

その方は、神奈川にお住まいで、パソコンは使われていない。電話を一旦切り、調べてから連絡する旨を伝えた。まずはホームページで「冷めない湯呑み」と検索すると、サーモス社の保温湯呑みが見つかった。

さっそく、同社に電話で確認すると、30 分の保温が可能という。ただ、販売は近所のスーパーマーケット、百貨店などからとのこと。そこで、問い合わせのあった方の近くのスーパーに在庫の有無の確認をすると、今はないけれど、問屋に確認するとの返事で、電話を切った。

しばらくして電話があり、問屋にも今はないが、取り寄せは可能。ただ、型番号を知らせてほしいとのこと。

一方、九段下にある和食器店を営む花田さんに問い合わせたところ、保温ができそうな器数種を選んでお湯を入れ、お湯の温度の変化を実際に計測し、知らせてくれた。

花田さんから連絡を受けた時、蓋がついている湯呑みもお茶が冷めない、ということをお知らせしてもらった。

- ・ 問合せのあった方に再度電話をし、上記を伝えた。

今、その方は、スーパーに注文するか、冷めにくい結果の出た湯呑みにするか、はたまた、今までの湯呑みに蓋をするか、考え中と思われる。

- ・ 共用品は既に多くの企業で作られている。それを、ニーズのある消費者、流通に的確かつ効率的に、そして誰にでも伝わる仕組みが、喫緊の課題と改めて思った次第である。（星川 安之）

#### ■冷めない器

<http://www.thermos.jp/product/detail/jcz-200.html?color=KUR>

#### ■和食器「暮らしのうつわ 花田」

<http://www.utsuwa-hanada.jp/>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>